フィッシング報知 「第56回報知キス釣り選手権・SESSYA CUP」福井予選

工藤選手初大会 女性トップ通過

シニア含め10人決勝大会進出

「第56回報知キス釣り選手権・SESSYA CUP」福井予選が1日、福井・三里浜で行われた。84人が参加し、午前6時から4時間で釣ったキスの尾数で順位を競った。28尾を釣った工藤はるみ選手を筆頭に、上位9人とシニアから山本満選手の計10人が決勝大会（9月21日、鳥取・弓ヶ浜）進出を決めた。女子選手の予選1位通過は大会初。上位に女性2人が入賞するなど、女子選手の活躍が目立った。また、7日に徳島予選（※詳細は17日付釣り紙面）が行われ、3会場全ての予選が終了した。

雨で厳しい状況

このところ、なぜか週末になると天気が優れない。1日、「第56回報知キス釣り選手権・SESSYA CUP」福井予選も雨中の開催となった。

前日、小雨のなかで試し釣りをすると、4連、3連と上がってきた。他の釣り人に聞くと同様に釣れている様子。

【主催】報知新聞社
【後援】全日本サーフキャスティング連盟
【協賛】㈱SESSYA
【特別協賛】ふぐ名人
【協力】㈱サンライン、㈱ささめ針、マルキユー㈱、キリンビバレッジ㈱、東邦産業㈱、鷹巣観光協会

決勝大会進出を果たした（前列左から）工藤、香林、小野山、佐藤宏衣、佐藤大輔、（後列左から）大知、猪熊、瀬野、坂元、山本の各選手。

早朝には雨が上がる予報で、期待が持てそうな釣況と思われた。

しかし、受け付けが始まった午前5時でも雨は降り続け、時には強く地面をたたいた。吹く風が体温を奪い、釣りには厳しい状況だった。それでも、選手たちは躍動的にポイントへ向かい、同6時のスタートを待った。

鷹巣海水浴場駐車場に本部を設置し、エリア北端は三里浜ハマナス公園前、南は海水浴場の奥から4番目の消波ブロックまで。しばらくして北側から釣果を確認してまわった。前日の予測とは違い、アタリがあまりなく単発でしか上がってこないとのことだ。1投目に9連が来たという選手に聞くと、最初だけであとはアタリがない。

南側エリアはポロポロと釣っており、少しは状況が良さそうに思えた。全体的には1色（1色は25㍍）より手前はフグが多くて仕掛けがもたないようだ。2～3色でアタリがあるが、キスの群れは小さく、連掛けしてもすぐに散ってしまい、後が続かない様子だった。

後半に数伸びる

競技後半になると雨もやみ、エリア北側で活性が上がってきたのか、連掛けをしている選手が増え、数を伸ばしていた。

成績は、工藤はるみ選手が28尾でトップ通過。8位タイまでの9人とシニアから山本満選手の計10選手が決勝大会に進出した。

目を見張ったのが、56回と長く続くこの大会で、予選ながら初の女子選手が1位になったこと。それだけではなく、佐藤宏衣選手が4位で続き、2人の女子選手が並み居るトーナメンターたちを退けて決勝に進む快挙を成し遂げたことだ。

（報知APG・伊達　浩憲）

◇福井予選の通過者◇

順位	選手名	年齢	所属クラブまたは住所	尾数
1	工藤はるみ	50	うみかぜサーフ	28
2	香林　和幸	55	石川鱚酔会	25
3	小野山　太	44	富士サーフ	23
4	佐藤　宏衣	44	石川鱚酔会／NMF	20
5	佐藤　大輔	49	チーム磯の浦101	18
6	猪熊　洋典	53	イスズキャスティングサーフ	16
6	大知鼓太郎	26	マスターズサーフ	16
8	坂元　宣謙	52	チーム投げ釣り北近畿	15
8	瀬野　哲也	44	ちぃむどすこい	15
【シニア】				
1	山本　満	74	石川・内灘町	9

▽予選通過人数　基本的に参加者数の上位1割とし、端数は繰り上げ。今回は84人中、8位タイまでの上位9人とシニア（70歳以上）最高釣果者1人に決勝大会進出の権利が与えられた。

みんながフレンドリーで楽しかった

初参戦小野山さん 8連掛け成功

初めて「第56回報知キス釣り選手権・SESSYA CUP」福井予選に参加した。

午前6時に競技が開始。釣れるキスが小さいので、ハリと餌を小さくしてキャストした。1色半から手前を攻めるもアタリはない。3連掛けしている人が見えたが、全体的に渋い状況だ。1投だけで移動する人もいた。

やむなく移動すると、波が穏やかな場所を発見した。ここで勝負！ハリを4号に変更し、餌は大きめに付けた。1色半から丁寧に探ると、1色を切ってからプルプルとキスのアタリが。まずは1尾確保だ。

これでキスのいる場所や釣り方が分かると、続けて4連。アタリが来たら巻き上げずず、他のハリに掛けるイメージで仕掛けを止めた。すると、ブルブルが止まらない。アタリを楽しみながら巻き上げると8連掛けに成功＝写真＝。その後も2連、3連を繰り返し、23尾を釣ることができた。

初参戦だったが、参加者はみんなフレンドリーで、コミュニケーションをとりながら楽しく釣りができた。決勝大会はなじみがない弓ヶ浜だ。どんな状況や魚にも対応できるようにバリエーション豊富な仕掛けを用意したい。

（静岡県投釣連盟会長、富士サーフ・小野山　太）

アユ解禁気温上がれば釣果も上がる

奈良・天川 最高80尾

5月26日、奈良・天川村の天ノ川でアユ釣りが解禁された。水質が良く、良質のコケをはんだアユが釣れることで人気がある。平日にも関わらず、めぼしいポイントには夜明けから多くの釣り人が竿を出していた。

早朝は水温12・8度。週末の降雨で水位は20㌢高だ。水温も4度ほど下がり追いが悪い状況が見られたが、午前8時頃から各ポイントで竿が曲がり始めた。下流域の「みずはの湯」前では順調に釣れ、前日から泊まり込んでこのポイントを確保した釣り人は、同10時で20尾ほどの釣果だった。

午後から2時間半でアユ25尾を釣り上げた浜岸さん

私も午後から釣友でトーナメンターの浜岸氏と、庵住で竿を出した。がまかつの「競技スペシャルV7引き抜き早瀬」8・5㍍に「アーマードパーフェクト仕掛」0・04号をセットし、始めるとすぐに2尾釣れた。しかし型が小さく、人の釣り後だと大型は残っていなかった。寒さで納竿するまでの2時間半でボチボチと9尾をゲット。釣り歩いた浜岸氏は25尾だった。

解禁日は毎年3ケタ釣りが出る天ノ川だが、今年は最高が80尾ほどだった。その後は順調に釣れている様子で、釣友の元木氏は31日に栃尾で70尾の釣果。1日に和田地区で行われたGFG（がまかつファングループ）奈良支部の「鮎釣り親睦会」では4時間ほどで20尾の釣果が出ていた。

水温、気温とも低くアユ釣りには肌寒い日が続いているが、天候が安定し、日が差し込めば一気に釣れ出すだろう。

問い合わせは「大和屋」（☎0747・65・0008）、「天川村漁協」（☎0747・63・0666）へ。年券1万5000円、日券3500円。女性、80歳以上など半額。

（報知APG・峰松　茂美
※がまかつ・ライター）

◇**お知らせ**　釣り紙面は7月29日まで毎週火曜日に掲載します。

◇**お断り**　「週間投げ釣り情報」と「釣り特報」は10面に掲載しています。